

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

対象人数 (保護者) 12人

・ HUGシステム内回答	11人	回収91.7%
・ 紙面で回答	1人	回収8.3%
回答数合計	12人	回収100%

公表日： 2026年02月27日

事業所名：放課後等デイサービス きっず・もも

チエック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
① こどもの活動に応じて、個別＝個別支援室 少人数＝多目的室 運動活動＝体育館や運動場 を利用したりと、活動におけるスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
② 活動や送迎時の職員の配置について、見守りや支援に対して安全（適切）であると思いますか。	12					
③ 活動する場や、トイレ・洗面台・浴室などの生活の場は、こどもにわかりやすく伝えたり表記されていたりと、構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や口頭・絵・ホワイトボードを使用したりと情報伝達等への配慮がそれぞれのことにも応じて適切になされていると思いますか。	12					
④ 生活空間や活動する場は、清潔や安全に気を付けられており、心地よく、楽しく過ごせる環境になっていると思いますか。	11			1		・ 親子活動等へのご参加、HUGシステムでの療育や記録の確認、面談や担当者会議での療育施設への来訪など、ご協力をいただくことが、月に数回あると思います。その際に、気になる所についてはいつでも顔を合わせてお尋ねになっただけであればと存じます。
⑤ 1人1人のこどものこと（様子、特性、学力、障害特性、個性）を十分に理解し、こども一人ひとりに応じた個別活動や集団活動への支援や指導が受けられていると思いますか。	11			1		・ 連絡帳、HUGシステムでの活動の計画・活動の様子をご確認ください。
⑥ きっず・ももが公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。（配布済み。ホームページ公開ですが、やっていること、やりたいことを全てを記載したら、すごい量になっています...）	12					

環境・体制整備

適切な支援の提供

	チャエック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑦	<p>こどもの気持ちや考えと向き合い、又、保護者のニーズや、こどもの課題を総合的・客観的に分析した上で、モニタリングや面談・担当者会議を含めて気づいたことや協働した支援をもとにした広域的な放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いませんか。</p>	11		1			<p>・モニタリングは、面談の際に、個別支援計画に基づいた支援と子供さんの様子、課題を含めて提示させていただいており、書類となります。面談を得て、ご家族の希望やおうちの様子を踏まえた、正式なモニタリング表と、併せて、個別支援計画のご確認をさせていただき、担当者会議や支援会議内を経てサインをいただいているものとなります。（会議の際に、再度加筆・修正がある場合は後日、修正後のものをお届けし送迎の際などに確認をさせていただいているものです）</p>
⑧	<p>放課後等デイサービス計画（個別支援計画）には、放課後等デイサービスの提供ラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から、総合的に設定され、その上で、5領域（健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性）と、具体的な支援内容が設定されていると思いませんか。</p>	11		1			<p>・モニタリングや会議の時間にお話しいただいた内容に応じて、個別支援計画を立て、OT、ST、保育士、介護福祉士、教員、音楽療法士、等それぞれの支援者が目的を持った日々の計画と到達点（目標）を視野に入れながら支援を行っております。個別支援計画の説明の際に、再度、放課後等デイサービスガイドラインを用いてご説明をさせていただきます。</p>
⑨	<p>放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に沿った支援が、活動を通じて発達を促されるよう配慮して、行われていると思いませんか。</p>	11		1			<p>・日々の支援は、個別支援計画に準じて「5領域のどの部分」「支援計画の重点はどこのか」といったことが分かるよう、必要に応じて、個別支援計画の各部分と運動させて記録を残すようにしております。保護者様が日々確認できるHUGシステムにて、今日の様子が書かれていますところの上にある文章が、個別支援計画の各部となりますので、ご確認されてみてください。タブレットなど大きな画面でPC用表示で確認されますと、横並びで入力されていることが分かりません。スマホだと、縦並びになるので、たくさん文字数が飛び込んでくるかもしれません。子供さんの様子はそのまま伝えております。たまには、HUGシステムを開いてご確認くださいませますと辛者様のログが施設では確認できておりますが、14人中4人のみチェックされている状況です。）</p>
⑩	<p>きつず・ももの活動プログラムが、遊びだけ、運動だけ、勉強だけ、など、こどもたちが楽しみや向上心を失われないよ</p>	11		1			<p>・同上</p>

	チエック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	うに固定化されないよう、工夫されていると思いますか。						
⑭	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会については、個人情報などの関係から「療育施設」としての交流は控えていることもあります。社会科活動などでは、公の場での活動やイベントに参加するなど「地域を知る」「社会を知る」といった活動を行っています。主に、土曜日や長期休暇での1日に応じて、子どもたち自身が発案し活動を行っているところですが、今後この活動を継続していくことを望まれますか。	11	1			・同上	
⑮	きつず・もちを利用する際に、運営規程（事業所の決まり）、支援プログラム（どのような環境でどのような人がどのような支援をしていくか）、利用者負担等（おやつ代や昼食代など）について説明がありましたか。	12					
⑯	「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」とモニタリング（2か月から半年に1回の様子を計画に準じてまとめたもの）を示しながら、更新時や面談・担当者会議の場などで、現状を踏まえた支援内容の説明がなされましたか。	12					
⑰	きつず・もちでは、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会について、主にLINE及び配布パンフレットで行っていますが、今後この方式でのご連絡でもよろしいでしょうか。	11	1				・親子活動等へのご参加、HUGシステムでの療育での様子や記録の確認、面談や担当者会議での療育施設への来訪など、ご協力をいただくことが、月に数回あると思います。その際に、気になる所についてはいづつでも顔を見合わせでお尋ねになつていただければと存じます。
⑱	日頃から子どもの状況について、送迎時やHUGシステム、連絡帳を通じて保護者と情報交換を行い、子どもの健康や発達状況についてのやりとり（共通理解）ができていていると思いますか。	12					
⑲	定期的に、面談のお願いや親子活動の参加依頼を行っています。子育てや環境の情報集めに關する支援が行われていますか。	11	1				・親子活動等へのご参加、HUGシステムでの療育での様子や記録の確認、面談や担当者会議での療育施設への来訪など、ご協力をいただくことが、月に数回あると思います。その際に、気になる所につ

保護者への説明等

	チャエック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑭	<p>きつず・ちちの職員や法人理念は、共に こどもを育てていく支援者として、共感 的に、協力的に、将来を見据えた支援を されていると思えますか。</p>	11			1		<p>・子供を真ん中として、支援し、いつま でも子供でなく成長していく子供たち に適時、社会性についての課題や自立の 支援について「どうしたい」「どうあり たい」と自ら主体的に意識づけが出来る よう、支援を行ってまいります。それに は施設だけでなく、塾や習い事、部 活、公民会子供会活動などの地域資源へ の参加、色々な場所へ行って学ぶこと、 なども含め、保護者様のご協力が必要と なります。家庭での会話や取り組みなど も、子供にとっってはかけがえのない時間 となりますので、大切に過ごしていきたい と思います。</p>
⑮	<p>就労継続支援事業所の見学会、お泊り 会、保護者会や保護者交流イベントの開 催等により、保護者同士の顔を知る機会 が設けられるなどの支援がされている か。また、きょうだい向けのイベントの 開催等により、交流の機会が設けられる など、こども本人だけでなく、ご家族 (きょうだい含む)への支援がされてい ますか。</p>	11			1	<p>毎年、色々な活動や体験を計画していた だき、ありがとうございます。 楽しく 参加させてもらっています。</p>	<p>・令和7年度は、 就労継続支援事業所 (B型) の見学 就労移行支援事業所 の見学 霧島自然ふれあいセンター での宿泊学 習 長島町 造形美術展の観覧 天文館 &amp; 水族館散策、市電に乗ってみる 体験 長島町 すいせんウォーク 親子活動 のじりこびあ 本気の自衛隊かくれんぼ 親子活動 **その他、各種イベントへの参加 土曜日療育活動、自立支援の開始 子供たちが自発的に「遊び」を考え1 日過ごす時間と場の提供。昼食はクッキ ングで作るので、手際もバツマリ！に。 土曜日利用の子供たちの主体性・自主性 はぐんぐん成長しています。 色々ご協力いただき、ありがとうございます。</p>
⑯	<p>こどもや家族からの相談や申入れについ て、出来るだけ迅速に対応できるような 窓口の活用 (LINE、電話など) の体制が 整備されているとともに、こどもや保護 者に対してそのような場があることにつ いて周知・説明され、相談や申入れをし た際に迅速かつ適切に対応されています か。</p>	11				<p>困った時にお電話や対面でお願する とすぐに、対応していただき、お話をた くさん聞いていただいています。子供の 様子や対応に苦慮していますが、安心し ておまかせすることができています。子 供も、通所は大好きです。</p>	<p>・親子活動等への参加、HUGシステム での療育での様子や記録の確認、面談や 担当者会議での療育施設への来訪など、 ご協力をいただくことが、月に数回ある と思います。その際に、気になる所につ いてはいつでも顔を合わせてお尋ねに なっていました。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
②	<p>子どもを主体として、ご家族を含む気持ちや考え、意思の疎通や情報共有についての配慮がなされていると思いませんか。</p>	10	1		1		<p>ご意見を踏まえた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議や面談などでお話をしたことで、ずいぶん前のお話だと、日々の忙しさや大変さに紛れてしまい忘れてしまっていたり、大切なことが伝わっていません</li> <li>・家族での情報共有の際に更に曖昧になりつつあり、別途、別日に再度お話をする機会を設ける場合もあります。</li> <li>・面談や会議には相談支援員さんや学校・保育園の担当の方を交えて行うことで、困り感の共通している所、それぞれで、困り感の共通している言動などが表面化してきます。実際にあった事や気になる行動(2週間程度継続している場合)、また、やっておいた方がよい検査やその根拠なども併せて、お伝えをし、すり合わせながらの対応を行っています。</li> <li>・『全く問題がなく、課題も戻つからない。預かってもらうだけ』となった場合は、基本的に放課後等デイサービスは卒業となります。笑顔で新しい門出に立つ、令和7年度は4名の子供たちですが、何かあったり不安なことや困った事がありましたら、いつでもご相談ください。</li> </ul>
②	<p>定期的に通信やホームページ・HUGシステム等・LINEなどで、活動概要や行事予定を含む連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。</p>	10	2				<p>今年度は、「やりたい」「やってみたい」「行ってみたい」の子供たち主体の意志によるイベント参加や活動が多くありました。そのため、たくさんの案内やご連絡(LINE、ペーパー、連絡帳)が続き、保護者様には何のことやら、いつのことやら?...となってしまうような気がしています。(実際、運営もてんやわんやでした...) 令和8年度は、連絡方法をHUGシステムへ統一する形を取っていきたいと考えております。(保護者様自身が確認する際、『確認済み』や『既読』がつくことと、施設側も誰が確認されたかが分かるため) 学校や習い事のプリントやLINEも多くあるということも踏まえて、この方式を取らせていただきます。</p>
②	<p>個人情報取扱いに対し(療育のみにお伝えいただいている気持ちや状況など)にも気を付けながら担当者会議での情報交換なども併せて、気持ちや状況に対して、配慮されていると思いませんか。</p>	11	1				<p>会議や面談などでお話をしたことで、ずいぶん前のお話だと、日々の忙しさや大変さに紛れてしまい忘れてしまっていたり、大切なことが伝わっていません  </p>



	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
㉔	<p>きつず・もちでは、非常災害の発生に備え、計画に基づき定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われております。こちらの訓練は事前に伝えて行う場合と、事前の通知なく行う場合の2つに分かれております。今後、この2つのやり方を行っていく予定としています。(過度な怖さを感じて、訓練が行われるまで心ここにあらずの子供さんもおれば、訓練が始まると「どうせ訓練だし」とふざけて対応する子供さんもあるため) また、避難訓練の後にアフターケアも行っております。このような進め方でご賛同いただけますか。</p>	11	1				<p>・4月の防災訓練を始めとして、色々な訓練を行っています。 1) 事象が起きた時の対応に慣れる 2) 事象の原理を理解し、身を守る行動がとれる といったことが出来るよう、繰り返し行っています。 ・訓練の日程は事前にご連絡は致しません(前述の通り) ・訓練の様子はHUGシステムに入っています。ご確認ください。</p>
㉕	<p>きつず・もちより、こどもの安全を確保するための計画・チェック項目について、配布およびホームページへの掲載を行っております。安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。また、ご確認の際、加筆した方がよいと思われる事項がありましたら備考へご記入いただけると幸いです。</p>	12					
㉖	<p>事故等(怪我等を含む。)や持病の悪化など発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明と状況に応じての病院での引き渡し等の迅速な対応がされていると思いませんか。</p>	12					
㉗	<p>こどもは楽しみや安心感をもって、通うことが出来ていますか。</p>	10	2			<p>・特定の男児の距離感が近いようで、手を繋ぐれたり、お尻のそばに顔を近づけたりとすることがあるときいています。 特定の曜日は嫌だと言いつつながらも行く。 やめて・いや、と伝えるが改善しないという。 ・先生がいる時は先生が怒ってくれるからと、安心して通ってはいる。</p>	<p>・守ってくれられる存在=支援者 と感じていてくれることがありがたいです。来所してきて、まず「OOくんは何時にくるの?」と聞いてくる様子が見られます。「先生、ちゃんと見てね。」と。 ハラスメントの定義と一緒に「OOくんは嫌。xxくんは同じことをしても大丈夫」という発言も聞かれます。あるため、社会的に見て、距離が近い、異性でしてはいけない行為などに近い行為が見られる場合は、声掛けや活動、場を離したりとしています。 今後、も気になることなどありましたら、遠慮せずご連絡ください。 「先生たちの見ているところではしな</p>
	満足度						

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
②	<p>こどもはきつず・もちに来ることを楽しみにしていますか。また、それはどのような活動の時ですか。(備考にご記入いただけると有難いです)</p>	10	2			<p>・行事とか、楽しみにしていますが、行くことを楽しみにしています</p> <p>・行事がある時、神社参拝やケーキ作り等、自分が行く日にある行事に関しては楽しみにしていますが、別日(自分の利用日以外の日)に関しては消極的で拒否が入る。</p> <p>・近頃、太ってると言われた。等ルッキズムに関しての事があったようで、少し肩を落としながら通う時もあるようです。</p> <p>男の子だけ、少人数の時は、とても満足して帰っている事が多いです。</p>	<p>い、先生たちの見えていないところがある」と様々な場面でそのようなことがあるように、子供たちや保護者様から相談を受けることがあります。死傷をなくさないよう、支援や移動の際も気を付けながら対応させていただきます。</p> <p>・子供たちの特性として「家族以外」での活動は冒険です。</p> <p>毎日、たくさん気を遣って冒険をして楽しかったり、嫌なことがあるたりとしながら、成長しています。子供たちの「ことば」がどうしてもうまく伝えられない子供が多いので、話をよく聞いて、言い換えや補足をしつつ、「自分のしつくりとくる言葉」を探して、支援者へ伝えることをしています。</p> <p>冒険は楽しい事はばかりではなく、もちろん「ドキドキ」や「怖いような気がするもの」など、さまざまな気持ちも入り混じるものです。経験を増やしながら、「なあんだ、大丈夫だったじゃん」となるように、ちよつとずつのレベルアップをはかっていきます。</p> <p>「この曜日」と決まった曜日は「活動の日」「お勉強の日」とピシッとスイッチを入れることが出来る子供たちです。が、「お休みの日」と思っススイッチが入りにくい日に「振替でこの日は利用だよ」と言われても、「なんでよ～」となってしまう。利用日・予定日に元気によく利用し、気持ちのスイッチをしっかりと入れてかつよく活動に向うことが出来ているので、それだけで花丸です！</p> <p>・ルッキズムの発言につきましては、保護者様へ直接返信をさせていただいたところから、</p> <p>経緯としては、ある日、子供さんが会話の途中で、「そういえば、僕、学校で太っているって言われてシヨックだったんだよね」という話をしてくれました。それに対応して、お話を聞いていた職員。隣の間に、子供さんの中では「OO先生(話を聞いた職員)が僕のことを太っているって言ったからシヨックだった」という意識の固定化につながってしまった様で、他のスタッフの顔を見ては「OO先生が僕のことを太っている、って言うってシヨックだった」と大きな声でかつ</p>

	チャエック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							<p>こよく伝え、その後ガックシと肩を落として悲しい様子を伝える、ということが多発しています。原因となる日、そばで話を聞いていた職員も数人いたこともあり、「そんなことは一言も言っていないのに、なぜ、そのような話になってしまったのか」という疑問が浮上し、子供たちの悩みを聞いたり、アドバイスをしたりとすることも控えようか...、必要な活動に対する支援だけでよいのではな いか、例えば「今日は暑いから洋服（上着、では通じないため、ジエスチャーマを使用）を1枚脱ごう」と男性職員が女の子へ声掛けしたら、100先生（男性職員）が、洋服を脱いで言って言った」と上手く伝えることが難しい状態で、アナウンスされてしまったら、と。</p> <p>前述のように、子供たちは「話をうまくまとめることが難しい」「大切なところが抜けてしまう」といった特性も見られています。「?」どういうこと?」と思っただけは、連絡帳又はLINE（4月からはHUGの連絡事項）で、まずはご連絡をいただくとありがたいです。</p>
②	<p>きつず・ちもの支援に満足していませんか。（こうあって欲しい、こういうことも内容に含めて欲しい、こういう経験もさせたい、などのご要望がありましたら、備考へご記入ください）</p>	11	1				<p>・昨年度は「アルバム」を作り配布する予定でしたが、写真NGの子供さんがいらつしやることから、全体活動の写真や子供たちの表情での頑張りや達成感をお伝えすることが出来ないと考え、断念しました。</p> <p>・経験活動については、ご意見等がなかったため、来年度は厳選して活動の数を減らしていく方向で対応させていただきますと思っております。</p> <p>・令和8年度は、土曜日は学習支援としての時間も設定する予定としています。必要に応じて、ご希望をお聞かせください。</p>